

2009年9月15日
株式会社日立製作所
住友商事株式会社

日立・住友商事が共同でエジプト初の超臨界圧火力発電所向け 蒸気タービン発電設備 2 台を受注

株式会社日立製作所(執行役会長兼執行役社長:川村隆ノ以下、日立)と住友商事株式会社(取締役社長:加藤進ノ以下、住友商事)は、このたび、エジプト・アラブ共和国(以下、エジプト)の電力会社である東デルタ発電会社(East Delta Electricity Production Company)より、スエズ湾岸に建設されるエジプト初の超臨界圧火力発電所向け蒸気タービン発電設備 2 台を約 300 億円で受注しました。

契約内容は、650MW の蒸気タービン発電機 2 台を含む機器製造および据付、試運転までの一括請負で、完成・引き渡し納期は 2013 年夏の予定です。本件は、2009 年 3 月 19 日に入札が実施され、顧客による商務および技術に関する審査が行われた結果、総合的に優れた評価を得た日立および住友商事への発注が決まったものです。なお、資金はアフリカ開発銀行(ADB)が融資します。

今回受注した発電設備は、カイロの東南東 約 120 キロに位置するアインソフナ地区で新規建設される発電所に設置され、着実な経済成長を背景に年々増加するエジプト国内の電力需要を賄うものです。同発電設備には蒸気を高温高压化することで発電効率を高め二酸化炭素(CO₂)排出量を抑制する超臨界圧火力発電技術がエジプトで初めて採用されます。主な燃料は天然ガスで、発電所全体の総出力は 1,300MW となります。

日立および住友商事はエジプトにおいて、2002 年 5 月と 2005 年 9 月に複合火力発電所向けの蒸気タービン発電設備を受注しているほか、2007 年 9 月にも火力発電所用のボイラーを受注しています。エジプトでは 2012 年まで年間 6~7%の電力需要の伸びが予測されており、今後も継続的な発電プラントの建設が予定されています。日立および住友商事の両社は、今後もエジプトならびに周辺地域で積極的な受注活動を展開していきます。

照会先

株式会社日立製作所 電力・電機グループ 国際電力営業本部 [担当:廣中、田中]

〒101-8608 東京都千代田区外神田一丁目 18 番 13 号

TEL 03-4564-4525 (直通)

住友商事株式会社 電力・プラント EPC 第三部 [担当:山本]

〒104-8610 東京都中央区晴海一丁目 8 番 11 号

TEL 03-5144-9202 (直通)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
